

第5学年 外国語科指導案

日時:2023年2月10日(金) 5校時

指導者 高野慎之介(T1)

Mills Audrey(T2)

対象学級:杵築市立八坂小学校5年1組 22名

1 単元名 大分県に来る人に「杵築のおすすめ観光マップ」を紹介しよう。

Lesson9 I love my town (Junior Sunshine5 KAIRYUDO)

2 単元設定の理由

(1) 教材について

本単元では、外国人観光客の入国が再開した現状を生かし、これから大分県に観光に来る人たちに対して『八坂小5年生おすすめ!杵築市観光マップ』をもとに故郷を紹介する。マップには、児童は前単元までに学んでいる This is ～.や You can ～.本単元で学習する It's famous for ～.の表現や、大きな数や形容詞、それに杵築市の名所や観光スポットを織り交ぜて表現をする。

自分たちが住んでいる杵築市のおすすめの観光スポットや名産品、あまり知られていないよさや自分だけのお気に入りの場所についてマップをもとに紹介することで、地域への愛着を再認識することができる単元である。また、総合的な学習の時間や社会科等の他教科との関連した学習を行うことができる単元でもある。

(2) 児童について

本単元を行うにあたって、外国語学習に対するアンケートをとると、外国語の学習を楽しいと肯定的に捉えている児童は19名で86%である。これまでの学習では、八坂小校区の道案内をALTの先生に話す活動を行ったり、自分のヒーローについてロイロノートを使って表現する活動を行ったり、お世話になった人にクリスマスカードを書いたりするなど様々な活動を行ってきた。

その中で、児童は単元のゴールに向かって、主体的に学習に向き合うことができている。話す活動では、ペア活動で自分の意見を交流したり、クラスの友だちと自由交流を行ったりと活発に英語を話す場面が見られた。本単元においても、単元のゴールに向かって主体的に学習に取り組める雰囲気をつくり出すことができる。

一方で、「書く」活動においては、これまでの学習を終えた現状では、個人差があり、苦手意識や抵抗感を感じる児童も存在する。しかし、一年を通してタイピング練習を行っており、前単元でもロイロノートを使って発表資料を作った経験がある。ロイロノートを使って書くことに関しては、前向きに取り組むことができる。

(3) 指導について

指導においては、外国人観光客の入国が再開した現状を紹介し、これから大分県に観光に来る人たちに対して自分たちが住んでいる杵築市をおすすめしようと提案する時間から始める。その際、指導者の出身地である日田市のおすすめ観光マップを見せ、Teacher's Talkを行い、単元のゴールイメージを持たせたい。この観光マップには日田市の定番の観光スポットだけでなく、指導者が個人的な好きな場所や名産品を紹介することでオリジナリティの大切さを児童に実感させ、自分たちが作るマップ作りにも意識を繋げたい。

次に、「杵築市のおすすめ観光マップ」を書いたり、紹介したりするために使う“It’s famous for～”や千以上の大きな数字や形容詞の表現にペアワークや自由交流等の活動を通して慣れ親しませ、表現の定着を図りたいと思う。その上で「杵築のおすすめ観光マップ」の作成につなぐ。

マップの作成にあたっては、児童が紹介したいと思う観光スポットをアンケート形式により調査する。その際、単元の始めに見せた日田市のマップを思い出しながら、オリジナリティが出るようにポイントを選ばせたい。マップ作成に向けた学習活動はペアを基本とする。特に、紹介するものが同じ児童がいる場合は、その児童同士で取り組ませる。そのことにより、交流活動を主体的に行うことができるという児童の良さを生かすことができる。

選んだポイントについては、①“This is ～。(どこ)”②“It’s famous for ～。(どんなところ)”③“You can ～。(何ができる)”の3文を使って紹介するように指導し、ロイロノートを使って書かせることとしたい。特に本時では、③“You can ～。(何ができる)”について考える。自分が選んだ観光スポットで「何ができるのか。」を表すための適切な表現を考えさせ、ロイロノートに書かせていく。前時までには書いている①と②の文と合わせて完成した紹介文を同じペア同士で伝え合わせる。その際、児童には相手の発表に対して英語でレスポンスを返させることを指導し、温かい雰囲気を作りたい。また、③の文ができなかった児童に対しては、どの英単語を使うとよいかアドバイスすることにも取り組ませ、クラス全体で考えを深める時間としたい。

単元の最後に、完成した観光マップを使い、児童一人一人がクラスの前で発表を行う。この学習活動はiPadで撮影する。保護者の方や地域の方に見てもらう機会を設定し、児童の学習意欲につなげていきたい。また、完成した「杵築のおすすめ観光マップ」は大分空港に掲示していただき、大分県に観光に来る方々に感想を書いてもらうシートと箱を置く。もし、そのシートが返って来れば、実際に自分が「誰かの役に立てた」という自己有用感を児童に感じさせることができるのではないかと考えている。

3 単元の目標

大分県に来る人に杵築市のおすすめの観光スポットを知り杵築市を楽しんでもらうために、自分の知っているおすすめ観光スポットや好きな場所、名産品等について、3文の英文が書かれた自作の観光マップをもとに発表することができるようにする。

4 関連する八坂小学校のCAN-DO リストにおける領域別目標

話すこと(発表)	地域の観光スポットやお気に入りの場所、名産品を発表することができる。
----------	------------------------------------

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	(知識)地域の観光スポットやお気に入りの場所、名産品等の表現、 small,big,new,old などといった形容詞表現、This is ～. It’s famous for ～. You can ～. など観光スポット等を紹介するための表現について理解している。 (技能)自分がおすすめする観光スポットについて、話す技能を身に付けている。	大分県に来る人に杵築市を楽しんでもらうために、自分がおすすめする観光スポット等について自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	大分県に来る人に杵築市を楽しんでもらうために、自分がおすすめする観光スポット等について、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

6 単元の指導計画と評価規準(全6時間)

時間	学習活動	評価		
		知技	思判表	主
1	日田市のおすすめ観光スポット等の話を聞き、学習の見通しをもつ。	○		
2	有名なものの紹介の仕方や、大きな数の言い方を聞いたり話したりする。	○		
3	大きさや長さ、様子の表し方を聞いたり話したりする。	○		
4	杵築市のおすすめ観光スポット等の紹介文を書く。	◎	◎	
5 (本時)	杵築市のおすすめ観光スポット等について、友だちと伝え合う。		◎	◎
6	クラスみんなに杵築市のおすすめ観光スポット等を発表する。	◎	◎	◎

(◎は記録に残す評価、○は次の指導に生かす評価)

7 本時の指導(5/6時間)

(1) 題目 大分県に来る人に「杵築のおすすめ観光マップ」を紹介しよう。

(2) ねらい 自分のおすすめの観光スポットについて、紹介文を考えたり、交流しあったりすることを通して、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点		備考 評価規準
		T1(高野)	T2(Audrey)	
1 warm-up ・挨拶とめあての確認をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をする。 ○単元のめあてを確認する。 ○日田市のおすすめ観光スポットの紹介文を例として、紹介文の発音練習をさせる。 ○今日のめあて(Today's Goal)を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をする。 ○日田市の紹介文を読む。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Today's Goal 杵築市のおすすめ観光スポットを伝え合おう。 </div>				
2 Activity ① 紹介文を考える。	12	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の選んだ観光スポットで「できること」を考えさせる。 ・”You can ~ .”の後に続く内容を考えていることができるように促す。 ・わからない単語や表現しにくいものがある場合には、ALTに質問したり、掲示物、iPad や英和辞典を使って調べたりしてよいことを伝える。(その際、「相手意識」を思い起こさせ、聞き手が理解するために必要なことを考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない単語がある場合は、既習の語や表現を思い出させたり、例を挙げたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート ◎「おすすめ」であることが伝わる文になるように、自分の考えや気持ちを表すための適切な表現を考えている。

<p>3 Activity ② 紹介文を伝え合 う。</p>	<p>18</p>	<p>よう支援する。)</p> <p>○考えた友だちと紹介文を伝え合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な練習時間を与え、自信をもってペ アに伝えられるようにする。 ・発表を聞く側は英語を使ってレスポンス を返させる。 ・紹介文が完成していない友だちにはど んな単語を使うとよさそうかアドバイスさ せる。 ・自由交流の時間をとり、ALT やいろんな 友だちと交流させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習中は机間指導を 行い、発音や態度に 配慮させる。 ・児童の発表に英語で レスポンスを返し、児 童の自信につながる ような声掛けを行う。 	<p>(思・判・表)</p> <p>◎「おすすめ」 であることが 伝わる紹介に なるように、自 分の考えや気 持ちを表すた めの適切な表 現をしようと している。(主)</p> <p>・振り返りシー ト</p>
<p>4 Activity ③ 紹介文を完成さ せる。</p>	<p>5</p>	<p>○紹介文を完成させ、ロイロノートの提出 ボックスに提出させる。</p> <p>○次時につなげる声かけをし、発表活動 に意欲をもたせる。</p>		
<p>5 Looking back 振り返りをする。</p>	<p>5</p>	<p>○今日の授業の振り返りをする。</p>		
<p>(期待される児童の振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに勉強したことを使って、杵築市のおすすめができそうな紹介文を考えられてよかった。 ・○○さんの発表は、聞いた人が行ってみたい気持ちになりそうでいいなと思った。 ・アドバイスをしたり、レスポンスを返したりして、友だちと伝え合いをたくさんすることができてよかった。 ・今日できた紹介文を次の発表でもしっかりと発表して、自分の気持ちを伝えたい。 				